

オートフィルの応用

1. 規則性を持つ数値の入力方法

- ①隣接した 2 つのセルに数値等を入力
- ②2 つのセルを選択して、オートフィルの実行。これにより、2 つのセル間の関係が他のセルへも反映される。

例 1) 1,3,5,・・・の奇数のみを表示する。

例 2) 0 から 1 までを 0.01 刻みで表示

- 方法：①あるセルに 0 と入力
- ②その下のセルに 0.01 と入力
 - ③上の二つのセルをドラッグ
 - ④オートフィルで 1 までドラッグ
(※その後、桁を揃える！)

2. [0,1]の一樣乱数の生成

1000 個の一樣乱数を生成する。

- 方法：①セルに半角で「=rand()」を入力
- ②オートフィルで 1000 個ドラッグ
- 発展 A：1000 個の乱数を昇順に整列させるには？

乱数は操作の度に新しく生成されるので、このまま整列させても、正しく整列しない！

- 方法①1000 個の乱数を範囲指定した後、コピーボタンをクリック
- ②B 列に貼り付けるが、数値として貼り付ける
 - ③B 列を整列させる

発展 B：一樣乱数の応用

乱数は様々なシミュレーションで利用
例えば、コインの表裏、さいころの目を表示可能である。

- A1 のセルに「=rand()」を入力
A2 のセルに「=IF(A1>0.5,"表","裏")」を入力

問：さいころの目を表示させるには？

Excel での整列とフィルターの利用

1. 文書例 4 の「前期」試験の成績順で昇順（降順）に整列させる。

- ①「前期」のセルをクリックする。
- ②「編集」グループの「並び替えとフィルタ」ボタンをクリックする。
- ③昇順（降順）をクリックする。

2. 平均が 70 以上のものだけを表示する。

- ①「編集」グループの「並び替えとフィルタ」ボタンをクリック
- ②フィルタをクリックする（項目にボタンが出現する）。
- ③「前期」のセルのボタンをクリックする。
- ④「数値フィルター」-「指定の値以上」を選択する。
- ⑤数値の欄に 70 を入力し、OK をクリックする。

（解除は、上の①、②を再度実行する。）

Excel のマクロとその実行例

マクロとは、一連の操作を記録しておき、後から呼び出して記録時と同様に再実行できる機能のこと。

①開発タブの表示：

「ファイル」-「オプション」-「リボンのユーザ設定」で開発にチェックを入れる。

②マクロを記録：

例として、1 月から 12 月までの連続データを記録する。

まず、「相対参照で記録」をクリックする。

「マクロの記録」をクリック（記録開始）、

A1 のセルに 1 月と入力、

オートフィルで 12 月まで水平方向にドラッグ、「マクロの記録」をクリックし（記録終了）

③マクロの実行：

適当なセルをクリックし、マクロを実行する。つまり、ボタン「マクロ」をクリックし、マクロを選択して、実行ボタンをクリックする。